

9. 東嶺寺

(田鶴浜町)



天正8年（1530年）長連龍が七尾城下にあった花溪寺をこの地に移し、慶安4年（1651年）連頼が兄連龍の菩提寺として改修し、現在の東嶺寺となりました。境内には高さ4m50cmもある県内随一と言われる長連龍の墓をはじめ、改修にあたった尾張（名古屋）の指物師の戸障子や欄間が残されています。これがこの町の建具の発祥となったと伝えられています。

山門も含め七尾市の文化財に指定されています。